

- ①計画に反映したもの
- ②ご意見の趣旨が（一部）計画に含まれていると考えられるもの
- ③素案にご賛同いただいたもの
- ④今後の取組の参考とさせていただくもの
- ⑤その他のご意見

いただいたご意見の概要と本市の考え方

No.	いただいたご意見（概要）	分類	いただいたご意見に対する本市の考え方
1	方針は良いと思うが、まずは下地作りを優先すべきではないか。新しい技術を使わなくてもできることから始めてみるのもいいのではないか。	④	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものととなります。 いただいたご意見につきましては、各区局における個別の取組推進の参考とさせていただきます。
2	統計は「データの収集方法」や「分析方法」で意味が大きく変わってしまうので、その点を重視した施策でなければならない。そういった事項に対する具体的な計画が含まれていないので詳細を知りたい。	④	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものととなります。 いただいた御意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
3	大筋は結構だが、情報機器や通信環境等の格差、費用負担の問題もあるので、損得が発生しないような対策が必要。いつ頃、どの範囲を、どういう風に対応させるのか等の具体的な計画を知りたい。	④	今後、各地方公共団体が優先的に取り組むべき手続とその方策が国から示される見込みのため、特に本市におけるニーズ、情報機器や通信環境等の格差を考慮し、平成30年度内に取組を整理し推進していきます。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
4	「官民データ」なので「民」が持つデータも活用すると思われる。しかし、データの集め方によっては「偏り」が発生するので、公平・公正なる統計の作成に至らない危険がある。どういうデータをどのように収集し、偏りや雑音の排除をどのように行い、どのような方法でどのように分析するのが問題になる。 最初は特定の項目を決めて試験運用すると思われるが、そういった具体的な計画を知りたい。	④	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものととなります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
5	横浜市立大学に特化するのはいかがなものか。広く、提案の募集をすればいいのではないか。	②	いただいたご意見の通り、様々な大学、研究機関と連携し、その知見を生かしていくことが重要であるため、横浜市立大学以外の大学・研究機関とも積極的に連携して取組を進めてまいります。
6	プログラミングを推進するものの、児童生徒1人1人の進捗や結果を確認するのが難しいという課題がある。 日本で最初となる学習者（児童生徒）の個人学習データ（PDS）を蓄積する基盤を整備し、学校内/進学時の情報連携や家庭学習や情報リテラシーの向上を図りつつ官民でデータ連携を活かした学力向上へ取り組み、プログラミングのみならず横浜市の児童生徒の皆さまが活躍を支えるデータ活用を進めてはどうか。	④	いただいたご意見につきましては、本市の現状を踏まえ、即時の実施は難しい状況にありますが、今後の取組の参考とさせていただきます。
7	全庁的な底上げは重要ですが、その前提として2つの取組が重要と考える。 ①データに関する専門性を有し、コンシェルジュとしてだけでなく所管課からの分析を請け負うなどコンサルタント、シンクタンクとして機能する組織 ②各部署が保有するデータを相互に融通できる庁内プラットフォーム ①②のような本市に専門性を有する組織・制度があり、そこをロールモデルとして見せ、後押ししていくことで、職員にデータの有用性を気付かせることができる。	④	データ活用に係る取組をより効果的に推進するために必要となる組織体制や仕組みについては、全庁的に取組を推進する中で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。

8	<p>横浜市緑の協会では「プライベートガーデンみどころ」として情報収集、公開を数年来続けているものの、各区との連携はなく、網羅性が感じられません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブサイトとして、「横浜市内におけるオープンガーデンのポータル」を立ち上げる。 ・自薦他薦を問わず、運営からも取材して、市内から遍くオープンガーデンの情報を収集し、正確性を担保しつつ常時更新、公開する。 ・個人情報（庭主の住所氏名等）は、本人の意思を確認したうえで、 <ol style="list-style-type: none"> ①ウェブ上に全公開（期間限定含む） ②閲覧に会員登録が必要などとしてアクセス制限 ③メールまたは問い合わせフォームのみ記載し個別対応、といったような形で慎重に扱う。 ・ウェブサイトをベースにして、印刷物冊子、ポスター等による告知にも連携する。 <p>「官」：運営の旗売り、ITC技術の基盤整備と活用、個人情報の扱いやマナーの普及などトラブル防止。将来的には公園など公共施設も含めた「ガーデンシティ横浜」の実現、その実情を市内外に告知していくこと。</p> <p>「民」：「花と緑が好き」という共通点をもつ市民同士、あるいは、市外の方々との、交流を活発化。民間緑化に対するモチベーションの維持。新たなコミュニティの形成、「生きがい」を得ること。</p> <p>「学」：本場英国をはじめ純西洋式のオープンガーデンと、江戸時代から庶民に園芸が普及していた日本における事例の比較文化論的な研究。そこから応用として、日本により適した新たなオープンガーデンの形を模索。国内最大の自治体である横浜市は事例として好適。</p> <p>「産」：ポータルサイトへの広告出稿ないし協賛によって、ガーデニング関連産業の需要喚起、販売促進。あるいは企業イメージの向上。関連イベントの主催運営または協力協賛。</p>	⑤	<p>いただいたご意見を関連区局に情報提供させていただきます。</p>
9	<p>横浜市立大学でデータ活用において、データサイエンス学部に限ることなく国際総合科学部においてもデータ活用を行ってほしい。文系の学生にもデータに触れる機会を創出できるように計画に加えることで、今までに横浜市立大学が取り組んできた地域貢献大学としての役割をさらに高めていくことができる。</p>	⑤	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。 また、横浜市立大学にも伝えさせていただきます。</p>
10	<p>データサイエンス学部の学生に対し、データを地域の課題解決にどのように活用していくかという授業を受講させることで、より実践的なデータサイエンティストを育成していくことが重要</p>	⑤	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。 また、横浜市立大学にも伝えさせていただきます。</p>
11	<p>データに関する技術の進歩は日進月歩である。計画を発表しただけでなく計画の進行度チェックする機会の創出及び公開を強く希望する。</p>	④	<p>計画の評価（振り返り）は毎年度行っていくます。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>もっと早く。具体的に、アウトカム指向で進めてほしい。予算を付けた実行部隊を編成し、具体的な問題解決に繋がるデータを選択し、CIVICTECHベースで進め、企業がスポンサーする形で成功モデルをつくる企画－計画を3か月位でまとめあげる必要がある。</p>	④	<p>多様な民間主体の方々との対話により、成功事例の創出に努めてまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>9つの施策をアウトカムが視えるように表記してほしい。</p>	④	<p>計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものとします。指標についても現時点で示すことができるものを掲げさせていただきました。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>施策をカテゴリー分けする</p>	②	<p>P16「第3章2 官民データ活用の推進に関する施策」の中で、9つの施策を①基盤・環境の整備②データの整備③データの活用という3つの視点でカテゴライズしています。</p>
15	<p>施策に優先順位を付け、最重要なもの3つを定義してほしい。</p>	④	<p>計画に掲げた目的に向けて、9つの施策を推進してまいります。</p>

16	施策の実行に対する責任主体と予算化の計画を明らかにして頂きたい。	①	いただいたご意見を踏まえ、P16「第3章2 官民データ活用の推進に関する施策」の中で、各施策の責任主体を記載いたしました。予算化については、取組を進める中で、単年度ごとに必要となる予算を調整してまいります。
17	ロードマップを示して頂きたい。	②	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものとなります。ロードマップについても現時点で示すことができるものを掲げさせていただきました。
18	結果を享受するのは誰なのか、市民が協力するという事は具体的な形を示して頂きたい。	④	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものとなります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
19	各部署横断的な内容になってくるので、横断を刺す実行部隊を市の中に設けてほしい。そこが責任と予算を持ち、企業からも資金調達を行い、最低でも有償ボランティアでプロジェクトを動かさないと絵にかいたモチになる。	④	平成29年4月に設置したオープンイノベーション推進本部及びプロジェクトが中心となり、分野横断的な取組を推進してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
20	「多摩市決算事業報告書のオープンデータ化とアナライザブルレポート(XView)を活用した市民との市政情報共有の仕組み」のような取組を横浜市でも進めていくべき。	④	ご意見及び情報をご提供いただきありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
21	プラットフォームだけでは民は何も動かない。具体的なデータとアプリが必要である。市民一人一人が行動変革していくモチベーションの高いテーマ設定が最重要である。	④	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものとなります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
22	技術的な手段と目的を間違えないようにしなければいけない。AIとかIoT以前の情報リテラシーとスキルアップが必要だが、具体的なテーマで「問題を解決する」ことで進める必要がある。	④	課題解決の視点を持って取組を進めることは重要だと考えています。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
23	「協働と共創」は、具体的な成果を産み出すには強力なリーダーの存在と、基本規格の筋の良さが重要である。チームメンバーを集め体制を造る必要がある。特に市の計画であるから、そこに基本仕様を描き全体を見渡す人材の投入が必要である。本来はCIOがそのミッションを担わなければいけない。	④	平成29年4月に設置したオープンイノベーション推進本部及びプロジェクトが中心となり、分野横断的な取組を推進してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
24	脳科学ー計算科学ーAIを結ぶ融合研究機構(社団法人)を来年度から稼働させていく。これまで関わった研究者の所属する大学、研究機関単位で複数の研究班で構成される研究コンソーシアムを構成する。	⑤	情報をご提供いただきありがとうございます。
25	企業としても生活者としてもモチベーションがあがるテーマ(具体施策)を打ち出していきたい。 具体実行施策として、成果物とその評価が見えるようなものにしていくこと。 準備委員会みたいなものをもうけ、市行政の中に市長直轄組織のプロジェクト組織をもうけ、さらに第4セクター的(民間シンクタンクで実装能力のあるメンバーとマネジメントチーム)を設けること。	④	NPO、企業、大学等、多様な主体の方々との協働・共創により、先端技術やデータを活用したプロジェクトを推進してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
26	「市職員の意識醸成」を目指している点が素晴らしい、かつ高く評価できます。ぜひ、他の自治体等の取り組みも研究しつつ、局長・部課長といった幹部クラスも巻き込む形で時間をかけつつ実現してもらいたい。	③	市職員の人材育成につきましては、職員一人ひとりの意識の醸成とともに取組を進めてまいります。

27	「市職員の人材育成」が最初の一步だと考える。「採用試験にデータリテラシー関連の設問を含める」「職員教育プログラムにデータリテラシー向上を含める」「民間への出向により経験蓄積する」といった地道な取り組みも欠かせないと存じます。	④	市職員の人材育成については、取組を推進するにあたって重要なポイントと考え、「第4章7 官民データ活用に関する教育及び普及啓発」の中に、市職員の人材育成を掲げました。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
28	指標については、「インプット指標が多く、アウトプット指標がほとんど見られない。」「科学的等の根拠が乏しいのではないか。」といった感触を受けた。まずは指標設定だけを市民や専門家とじっくり対話しつつ1年間程度かけて実施してはどうか。	④	計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものととなります。指標及びスケジュールについては計画期間中に着手する取組について、現時点で示すことができるものを掲げさせていただきました。今後、取組を進める中で必要となる指標を設定してまいります。
29	他行政機関以外の民間企業（インフラ（電気、ガス、水道等）企業、引越し事業者、金融事業者等）とも情報連携を行ってください。	④	政府のデジタル・ガバメント実行計画においては、行政サービスのほか関連サービスのワンストップ化を推進するため、民間サービスも含めた他サービスとの連携を促進することとされています。本市としましても、国等の動きも踏まえ取組を進めてまいります。
30	行政手続のオンライン化は、「業務の再設計」「業務の見直し」と不可分で実施してください。	②	いただいたご意見の通り、行政手続のオンライン化にあたっては、業務の再設計、見直しを一体的に検討し、取組を進めていきます。
31	行政サービスの電子化は、スマホで利用されることを前提にUX（ユーザ・エクスペリエンス＝利用者の体験）をデザインしてもらいたい。	④	利用者目線で業務を設計することは重要な視点と考えています。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
32	政府の推し進めるデジタルガバメントの推進は完遂まで膨大なリソース（ヒト・モノ・カネ）が必要になるため、市民がよく利用し、かつ比較的簡便で小規模なサービスから、BPR、デジタル化の推進を優先し、成功モデル・経験を作られてはいかがでしょうか。	④	ご意見の通り、デジタルガバメントの推進には膨大なコストがかかるため、厳しい財政状況の中、効果的かつ効率的に計画を推進するためには、優先度をつけて取組を進める必要があると考えています。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
33	施策3 行政が保有するデータの活用の推進に、「(2)基礎的データの整備の推進」が謳われている、かつ評価指標に「より二次利用が容易にできるデータ形式(RDF、LODなど)で公開したデータ数」が掲げられているのは、オープンデータ推進の次の課題である「データ品質(鮮度、種類、相互運用性等)の改善」にもつながっているため、とても秀逸な着眼点だと高く評価します。	③	オープンデータにつきましては、質・量ともに充実できるように取組を推進してまいります。
34	「行政の日常業務としてデータ品質を改善し続けられる体制(データガバナンス)の確立」が求められる。データガバナンスの司令塔となる部門の明確化ないし整備もあわせて推進されるのが望ましい。	④	平成29年4月に、データ活用や協働・共創の取組を効果的に行うため、庁内横断的に検討・推進する組織としてオープンイノベーション推進本部を設置しました。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
35	9の施策にはまだ、具体的な施策実施部局名が明記されていない。デジタルやデータは21世紀の共通基盤で、特にデータは「社会の血液」ともいえる位置づけになっていくことから、全ての部局が施策実施にかかわるものであると強く期待する。	①	いただいたご意見を踏まえ、P16「第3章2 官民データ活用の推進に関する施策」の中で、各施策の責任主体を記載いたしました。データ活用に係る取組が幅広い分野に広がるよう推進してまいります。

36	<p>評価指標を平成30年度と平成31年度の2年間で達成するように見受けられる。2年以内に達成できるような低い目線となってしまうのを強く懸念している。</p> <p>「3 計画期間」にあるとおり、国の方針や計画との整合性を取ろうとしていることは拝察するものの、あくまで横浜市独自の計画を記載した上で、3～4年間でそのうちのどの程度まで進捗できそうかといった主体的な姿勢が取られることを強く望む。</p>	④	<p>計画に掲げた施策は取組の大きな方向性を示したものとなります。指標及びスケジュールについては計画期間中に着手する取組について、現時点で示すことができるものを掲げさせていただきました。今後、取組を進める中で必要となる指標を設定してまいります。</p>
37	<p>どこにどんな技術をどのように使って、それらがどう連携するのかなど、具体的なシナリオや技術的な根拠なども交えて実現イメージを描くべき。</p>	④	<p>庁内での活用はもとより、市民・民間企業の皆様との連携など、具体的なシナリオを描くとともに、日々進展する新たな技術等を踏まえ取り組む必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
38	<p>「(2) 国の取組の方向性」には、国は「Society5.0」の実現を目指しているとあるが、横浜ではIoT、AIをはじめとする先端技術を積極的に取り入れてどのような社会構築を目指していくのか。</p>	①	<p>いただいたご意見を踏まえ、横浜市の目指す姿について、P1「第1章1 計画の目的」に記載いたしました。</p>
39	<p>公開については原則公開ということがわかり、評価します。エビデンスによる政策形成も評価します。</p>	③	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。計画の目的に向けて取組を推進してまいります。</p>
40	<p>水害データについて 市は「横浜駅周辺雨水幹線など整備事業」「飯島地区整備」を決定し、概ね計画通り整備されている。 年間に2か所の着手の速度で被害のひどい場所から整備するとして、俣野の汚水対策の順番まで何年かかるのか。「年度別、区別、町別災害、被害データ」に戸数や、被害金額や被害面積を追加してほしい。</p>	⑤	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。また、関連区局に情報提供させていただきます。</p>
41	<p>火災延焼面積についてのデータについて 地震による延焼シミュレーションデータが細かく公開されていてとてもいい。水害に比して、延焼数や被害額などの想定が出ていることも評価する。 そのうえで、焼失棟数予測をどのように出しているのか知りたい。 ①住宅が木造か ②築年数、改修経過年数 ③延焼防止になるオープンスペース、公園、広い道路、不燃建築物 ④緊急車両通行容易性、狭隘道路の改良 上記4点のデータを公開してほしい。</p>	⑤	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。また、関連区局に情報提供させていただきます。</p>
42	<p>市民意識調査のデータの公開、分析 町丁別、地域別の分析が見たい 個票データを公開してほしい</p>	⑤	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。また、関連区局に情報提供させていただきます。</p>
43	<p>容易ではないが、日常業務で帳票を入力すると、データの収集が自動的にできるシステムにしてはどうか。</p>	④	<p>データの整備にあたっては、データ生成を容易にするなど、業務効率を考慮した方策を検討する必要があります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
44	<p>公開しないデータのネガティブリスト化 原則公開ですから、逆にして、公開しないデータを列記してはどうか。</p>	④	<p>データ公開の考え方については、「横浜市オープンデータの推進に関する指針」の改定の中で検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
45	<p>SIBの検討・導入を進める取組を評価します。</p>	③	<p>いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。計画の目的に向けて取組を推進してまいります。</p>